

# 友の会だより

苦小牧健康友の会

苦小牧健康友の会  
発行責任者  
竹田 登紀子  
電話72-3291

## コロナの時こそ絆を大切に

2月から始まった新型コロナウイルス感染。勤医協苦小牧病院での感染対策など宮崎有広院長から友の会員のみなさんにメッセージを頂きました。



の会、地域の皆さんから、病院職員に対して、数多くの励ましの言葉をいただきました。また、手作りも含めて、フェイスマスクなど数多く病院に提供していただき、援に、この場を借りてお礼を申し上げます。この間、病院入り口での体温測定、窓口の透明ビニールシートなど、安全対策とはいえず、来院された方は、戸惑いや、またその距離感に寂しさ、冷たさを感じられたかもしれませ

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が終了してから、1ヶ月以上が経過しましたが、第2、3波について予断を許さない状態です。勤医協苦小牧病院では、2月から今まで、新型コロナウイルスの患者さん、職員は発生しておりません。院内感染を防ぐために、職員全員が今までの感染対策を強いられるストレスも大きなもので、患者さん、友

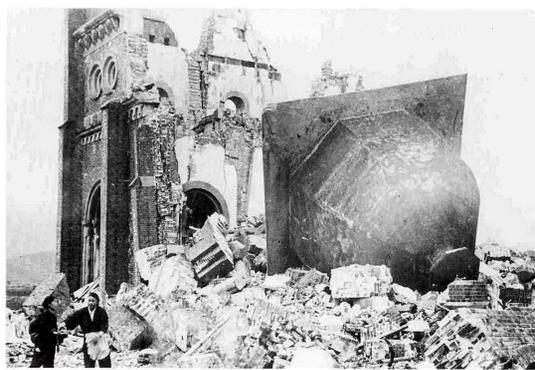


### 被爆75年

8月6日、9日に被爆75年を迎えます。今年にはコロナ禍で広島・長崎での世界大会が開催されません。10歳の時、長崎で被爆体験し、75年経った今、被爆者手帳の取得をしようとして苦小牧在住の被爆者渡邊清一さんにお話をお聞きしました。連載でお伝えします。

昭和20年8月9日、庭燃料のまき束を牛車でまき問屋に配達するため早朝に出かけ、母と姉は、満5歳の弟を連れて隣町にある里芋畑の作業に出かけていました。

夢中になって捕獲している、けたたましく警戒警報のサイレンが鳴りました。ひとりが寝かせてきた妹の事が心配になり急いで家に戻り、台所で川エビの整理をしていました。すると突然、目もくらむ稲妻光線が走り、次にドーンという高音と共に強力な熱風が玄関方向から吹き付け、台所の壁に叩き付けられ、家中は埃が舞い上がり



破壊された浦上天主堂

月の妹を子守しながら留守番するよう言いつけられました。納戸部屋に妹を寝かせつけ、目を覚ます間にと、自宅から200m離れた川平川に手長エビやモズクガニを捕まえに出かけました。

### 健康まつりは中止とします

恒例の「健康まつり」は、新型コロナウイルス感染の影響から、今年度は中止することとしました。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

り、畳はめくれ、家具類は飛び散ってしまいました。私は泣き叫ぶ妹を抱きかかえ、家の裏口から裏山にトンネル式に掘られた防空壕に避難し親の帰りを待ちました。浦上天主堂のある爆心地から3kmの我が家は、残りのあたり一面は焼け野原。生き残った人が次々に押し寄せ、筵（むしろ）に寝かせつけられたり、産み付けられた蛆（うじ）が口や鼻から出てきて、「水をくれば」とすがつてくる人が可哀そうで、水をあげていると、「何してるんだ、お前人殺しする気か」とひどく叱られ、その悲惨な光景は75年経った今も鮮明に記憶しています。（9月号につづく）

# シリーズ13 宅配者紹介



日吉町の亀尾美代子さん（72才）

私と友の会との出会いは、企業組合の冬季講習会で、石川孝雄さんに勧められ、たことがきっかけでした。その後、湯けむりツアーにも何回か参加させてもらいました。夫も友の会に入っています。私も友の会に入りたいです。

田中憲さんと宴席で同じテーブルとなりまして。帰りのバスの中で田中さんに「お願いがあるんだけど」と声を掛けられ、12年程前から自分の家の周りを宅配するようになりました。

日吉町1・2丁目を軒ほど配っています。自分の家の周りなら簡単に出来ると思います。が、はじめは会員さんの家が分からず苦労しました。今は、夏、自転車で回り、冬道は危ないので夫に車で手伝って貰い宅配を続けています。

日吉コスモス班では、2018年9月から公営住宅の「見守り隊」を続けてきました。活動を続ける中で、班員の中からみんなが集まる場所があったらいいねとの声が出されるようになりました。

おもしろい、新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、サロンも自粛態勢に入らざるを得ませんでした。しかし、孤立してしまおう人はいない心配で、月2回の見守りパトロールだけはコロナの中でも続けられました。

アブと言えば、羽が特別に2枚のハエの仲間。吸血する大型をイメー ジします。アブにも種類が多く、吸血しない



いい手すりが付いたねと声を掛ける見守り隊

ここで、地元老人クラブ日吉町明和会と協力し、市に公営住宅の空き家の使用を交渉してみました。すると、無償で一部屋丸ごと借りられることになり、班員で机やイスなどを調達し、準備をすすめてきました。ようやく、2月20日に「コスモスサロン」の開設にこぎつけ、開所に30人が集まりました。

# コロナだから続ける見守りパトロール

ある日、杖を突きやつと歩いて私の家を尋ねてきた人がいました。「転んで、足・腰が痛く布団から起きるのも辛い」と。ご近所付き合いもなく、不安な日々を過ごしていた様子です。早速、班員で話し合い、木製のベッドを用

意して運び入れ、その後痛みも取れたと喜ばれました。私たちの活動が地域に理解され頼りにされてきています。今後は、1日も早くコスモスサロンでの集まりが出来ることを願っています。

日吉コスモス班  
二又 せつ子

## 小牧の自然

2 谷口勇五郎

ビロウドツリアブ (天鷲絨吊虻)



ムラサキヤシオから吸蜜

ものが殆どです。ハチ



ナニワズにホバリング

の仲間昆虫一般の4枚の羽です。飛んでいると羽が2枚か4枚かは分かりません。しかも、ハチとアブの色彩がよく似たものがあります。5月末、支笏湖畔のムラサキヤシオ(ツツジ)の花を撮っているところ、体の丸い体長1cmほどの、マルハナバチに似たものが吸蜜に来ました。よく見ると、

以前、高丘公園のナニワズ(低木で黄色い花)にもいました。春に現れ、ホバリングしながら、長い口吻を使い、色々な花の吸蜜をするそうです。名前は、ホバリングがその場に停止しているように見えます。それが見えないうちに吊り下げられてはビロードのようになっています。何と、幼虫の時はハナバチ類(蜜や花粉を集め幼虫の餌)の幼虫や蛹に寄生すると言

**8月のサークル・サロン 活動について**  
各サークルなどの開催状況についてはお問合せください。

**友の会新聞宅配郵送作業**  
8月26日(水) 9:30~  
午後より宅配新聞のポストおろしが出来ます

**友の会自然散策ウォーキング**  
とき: 8月29日(土) 9時友の会室集合  
行先: ウトナイ湖 友の会バス利用(無料)  
定員: 10名(定員になり次第×切)  
申込: 友の会事務所 電話72-3291  
1時間半から2時間程度の行程  
歩きやすい服装、水・おやつは各自準備